

スミセイVitalityカップ



住友生命

Vitality

2025年

5.1木~6.30月

JVA第45回 全日本 バレーボール小学生大会



みんな主役だ
全小バレー

君が
ヒーロー
君も
ヒロイン



都道府県大会
プログラム

- 主 催 公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
- 後 援 開催地公共団体／公益財団法人 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団／報知新聞社
- 特別協賛 住友生命保険相互会社
- 協 賛 ゼビオグループ／デサントジャパン株式会社／株式会社ビーアンドビー浜松／丸大食品株式会社／三井住友信託銀行株式会社
- 協力 株式会社プレナス
- 主管 スミセイVitalityカップJVA第45回全日本バレーボール小学生大会都道府県大会実行委員会

がんばれ小学生!

全日本バレーボール小学生大会

大会指定使用球

公益財団法人 日本バレーボール協会検定球



molten®

www.molten.co.jp/sports/jp/



★ MIKASA

www.mikasasports.co.jp



全日本バレーボール小学生大会

オフィシャルボールサプライヤー

私たちはバレーボールを通じて小学生を応援いたします!

大会役員

〔大会会長〕	藤 高 洋 一				
〔大会副会長〕	村 田 一 暢				
〔大会委員長〕	後 藤 健 治	(津)			
〔大会副委員長〕	竹 田 秀 成	(男子)			
〔大会副委員長〕	木 村 一 敏	(伊賀)			
〔総務委員長〕	藤 井 万 寿 夫	(北勢)			
〔総務副委員長〕	中 西 か お る	(鈴鹿)			
〔総務委員〕	寺 田 徳 政	(男子)	山 順 子	(男子)	坂 口 恵 (男子)
	川 北 敬 士	(北勢)	松 本 好 美	(鈴鹿)	川 崎 真 吾 (伊賀)
	佐 久 間 恵 子	(津)	草 深 ふ じ 美	(津)	金 児 章 吾 (松阪)
	南 晶 子	(松阪)	前 田 生 次	(南勢)	内 藤 可 奈 子 (混合)
	山 路 順 敏	(混合)	山 中 敏	(混合)	
〔競技委員長〕	山 口 和 也	(混合)			
〔競技副委員長〕	瀧 川 司 篤	(伊賀)	林 数 馬	(松阪)	
〔競技委員〕	石 川 孝 司	(男子)	加 藤 貴 久	(男子)	中 村 直 樹 (男子)
	松 園 真 一 郎	(北勢)	川 原 一 夫	(鈴鹿)	山 口 敦 司 (伊賀)
	池 之 上 純	(津)	川 口 淳 史	(津)	海 津 幸 司 (津)
	北 岡 高 志	(津)	千 原 佑 紀	(松阪)	竹 内 清 郎 (松阪)
	奥 田 真 嗣	(松阪)	寺 田 文 昌	(南勢)	玉 野 登 喜 生 (南勢)
	井 上 寿 雄	(混合)			
〔審判委員長〕	尾 崎 純 司	(鈴鹿)			
〔審判副委員長〕	森 下 亜 季	(男子)	荻 正 信	(北勢)	稲 増 秀 明 (伊賀)
	岩 崎 純 一	(津)	森 正 樹	(松阪)	中 山 尚 典 (南勢)
	鍛 治 裕 美	(混合)			
〔審判委員〕	三重県小学生バレーボール連盟公認審判員				

開会式・表彰式及び閉会式次第

【開会式】

- 男子の部・混合の部
令和7年6月14日（土）
安濃中央総合公園内体育館
- 女子の部
令和7年6月14日（土）
四日市市総合体育館

チーム紹介

1. 開式通告
2. 開会宣言
3. 大会会長挨拶
4. 来賓祝辞
5. 大会運営上の注意
6. 指導者宣誓
7. 選手宣誓
8. 閉式通告

※プラカードを持参すること

【表彰式及び閉会式】

- 男子の部・混合の部
令和7年6月14日（土）
安濃中央総合公園内体育館
- 女子の部
令和7年6月15日（日）
鈴鹿市立玉垣小学校

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. 大会会長挨拶
5. 閉会宣言
6. 閉式通告

スミセイ Vitality カップ

J V A 第 4 5 回全日本バレーボール小学生大会 三重県大会

開催要項

主 後 特 協 主	催 援 協 賛 賛 力 管	公益財団法人日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社 三重県／公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団／報知新聞社 住友生命保険相互会社 ゼビオグループ／デサントジャパン株式会社／株式会社ピーアンドピー浜松／丸 大食品株式会社／三井住友信託銀行株式会社 株式会社 プレナス 一般社団法人三重県バレーボール協会／三重県小学生バレーボール連盟 スミセイ Vitality カップ JVA 第 4 5 回全日本バレーボール小学生大会三重県大会 実行委員会
-----------------------	---------------------------------	---

1. 開 催 日
 - 男子の部・混合の部／女子の部 1 日目 令和 7 年 6 月 1 4 日（土）
 - 女子の部 2 日目 令和 7 年 6 月 1 5 日（日）
2. 会 場
 - 男子の部・混合の部 **安濃中央総合公園内体育館**
[津市安濃町田端上野 8 1 8]
 - 女子の部 1 日目 **四日市市総合体育館**
[四日市市日永東 1 丁目 3 ー 2 1]
 - 女子の部 2 日目 **鈴鹿市立玉垣小学校**
[鈴鹿市北玉垣町 9 4 7]
3. 参 加 資 格
 - (1) 2 0 1 3 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、令和 7 年 5 月 1 日現在、国、公、私立の小学校および各種学校に在学していること。
 - (2) 公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規程に基づき、令和 7 年 4 月 1 日以降、支部予選参加申込書締め切り日までに、公益財団法人 日本バレーボール協会－MR S の登録を済ませていること。
なお、三重県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
4. 競 技 規 則
 - (1) 令和 7 年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則及び競技要項に準ずる。また、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
 - (2) 三重県小学生バレーボール連盟規則に準ずる。
5. 競 技 方 法
 - (1) トーナメント形式で行う。
 - (2) 3 位チームによる東海大会代表選考戦を行う。
 - (3) 男子の部は前年度新人大会 1 位及び 2 位を第 1 ～第 2 シード枠とする。ただし、男子支部予選の結果によりシードチームが決定しない場合は、大会競技委員長及び男子支部長の協議により確定する。
 - (4) 女子の部は、前年度新人大会のベスト 4 のチームの所属する支部を、第 1 ～第 4 シード枠とする。
 - (5) 混合の部は 2 会場で混合支部予選を行い、各会場の 1 位を第 1 ～第 2 シード枠とする。また、各会場 2 位を第 3 ～第 4 シード枠とする。

6. 競技日程 ■令和7年6月14日（土）

	【男子・混合の部】 安濃中央総合公園内体育館	【女子の部1日目】 四日市市総合体育館
・開場・受付	午前9時00分	午前7時30分
・代表者連絡会議	午前9時15分	午前7時45分
・開会式	午前9時30分頃	午前8時00分頃
・表彰式及び 閉会式	全試合終了後	行わない (2日目全試合終了後に行う)

※開場したら、受付で構成メンバー表・ベンチスタッフ変更届（該当するチームのみ）を提出すること。

※代表者連絡会議に規約及び規則を持参すること（スマートフォン等で閲覧可）。

※開会式、表彰式及び閉会式には選手6名以上が上下統一された服装（シューズは除く）で整列すること。

※女子の部の表彰式及び閉会式は2日目に行う。

※準備ができ次第大会本部より試合開始時刻を案内する。

■令和7年6月15日（日）

	【女子の部2日目】 鈴鹿市立玉垣小学校
・開場・受付	午前9時00分
・代表者連絡会議	午前9時15分
・表彰式及び 閉会式	全試合終了後

※準備ができ次第大会本部より試合開始時刻を案内する。

※表彰式及び閉会式には選手6名以上が上下統一された服装（シューズは除く）で整列すること。

7. 使用球 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボールを使用する。
- ・男子の部、混合の部 モルテンボール（V4M5000-L）
 - ・女子の部 ミカサボール（V400W-L）

8. チーム編成
- (1) チームは監督1名、コーチ2名まで、マネージャー1名、選手14名以内とする。
 - (2) 県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。選手については、同一団体内で参加資格を満たしているものであれば、支部予選時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一団体であっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中（予選から本大会）は他のチームの構成員として参加することはできない。同じ部門に複数チームが参加している場合においては、上位大会に参加申し込みする際に、敗戦したチームのメンバーも含めて1チームに編成し直して申し込みすることができる。
※全国大会においても同一団体内で参加資格を有しているものであれば、県大会時と違う選手に交代してもよい。
 - (3) 監督・コーチは成人であること。また、ベンチスタッフの1名以上は、日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会（一次・二次のいずれか）を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ・コーチ1～4のいずれかの資格取得者か日本小学生バレーボール連盟認定指導者でなければならない。また、試合時には証明書等を胸にさげ

ていなければならない。

- (4) 全国大会出場においても指導者資格は(3)と同様となる。
- (5) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る(MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要)。監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
- (6) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導に当たっている者であって、大会実行委員会が認めた者であること。暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
- (7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。監督は試合時に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。
- (8) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。また、ユニフォームは、男女で異なるユニフォームを着用し、番号が重ならないようにすること。ただし、第45回大会においては、異なるユニフォームを用意できない場合は、ソックスの色を変えるか、または男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕や足首に付けて、一目で判別できるようにすること。

9. 抽 選 会
- (1) 日 時 令和7年6月8日(日)午後7時00分から
 - (2) 方 法 支部長によるオンライン抽選

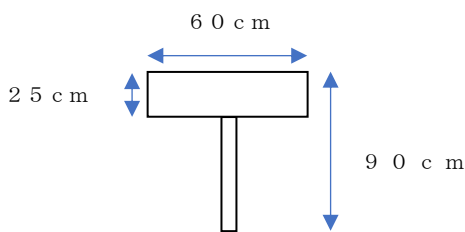
10. 参 加 料
- 1チーム「参加料5,000円」及び「空調使用協力費5,000円」
合計10,000円を当日受付にて納めること。

11. 申 し 込 み
- (1) 支部長は、**令和7年6月4日(水)までに**推薦チームの下記書類を指定されたドロップボックスに投入すること。
 - ・参加申込書(エクセル形式)
 - ・選手一覧(PDF)
 - ※年齢算定は4月1日とすること
 - ・ベンチスタッフの保有する資格の証明書の写し(PDFまたは写真)
 - ・大会冊子予約申込書(エクセル形式)
 - (2) また支部長は**令和7年5月18日(日)までに**、予選に参加する**全チーム**の下記データを指定されたLINEグループに投入すること。
 - ・チーム紹介用写真(横長)
 - ・チーム紹介用選手名簿(エクセル形式)
 - ・チーム紹介動画(横長)

12. 審 判
- ファーストレフェリーは、公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員及び三重県小学生バレーボール連盟公認審判員で担当する。セカンドレフェリー、スコアラー、ラインジャッジ、点示員はチームで担当する。
(長短2種類の笛を持参すること)

13. 表彰
 優勝（男・女・混合） 優勝カップ/全国賞状/読売新聞賞状/三重県賞状/
 県協会賞状/県小連賞状
 準優勝（男・女・混合） 準優勝トロフィー/全国賞状/読売新聞賞状/三重県賞状/
 県協会賞状/県小連賞状
 第3位（男・女・混合） 第3位盾/全国賞状/読売新聞賞状 /三重県賞状
 県協会賞状/県小連賞状
 ※第3位の表彰は、準決勝で敗退したチームも含む。

14. その他
 (1) 選手の健康については、指導者・保護者が十分注意をして出場させること。
 (2) 大会中の傷病の発生については、簡単な応急処置は行うが、以後の責任は負わない。チームは必ずスポーツ安全保険等に参加しておくこと。
 (3) 大会プログラムは、1部400円（予約のみ）で販売する。
 (4) 大会の上位チームの中から、令和7年8月4日（月）～7日（木）に東京都内体育館他で開催予定の「JVA第45回全日本バレーボール小学生大会」に、男子・女子・混合の各1チームを推薦する。また、令和7年8月2日（土）にKTXアリーナ（江南市スポーツセンター）およびエナジーサポートアリーナ（犬山市体育館）で開催予定の「第47回東海バレーボール連盟小学生大会」に、男子・女子・混合の各2チームを推薦する。
 (5) 開会式にプラカードを持参すること。プラカードは縦25cm程度×横60cm程度、高さ90cm程度とすること。



大会テーマ
 「君がヒーロー 君もヒロイン」
 ～ みんな主役だ 全小バレー ～

「子どもたちにフェアプレーの大切さを伝えよう」
 試合中はもちろん、大会中の行動も評価します



競技上の確認事項

大会競技委員長

1. 競技規則について

- (1) 令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び競技要項に準ずる。
また、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- (2) 三重県小学生バレーボール連盟規則に準ずる。

2. 競技方法について

- (1) トーナメント形式で行う。
- (2) 3位チームによる東海大会代表選考戦を行う。
- (3) 男子の部は前年度新人大会1位及び2位を第1～第2シード枠とする。ただし、男子支部予選の結果によりシードチームが決定しない場合は、大会競技委員長及び男子支部長の協議により確定する。
- (4) 女子の部は、前年度新人大会のベスト4のチームの所属する支部を、第1～第4シード枠とする。
- (5) 混合の部は2会場で混合支部予選を行い、各会場の1位を第1～第2シード枠とする。また、各会場2位を第3～第4シード枠とする。

3. チーム編成について

- (1) 提出されたチーム構成表（エントリー用紙）は全試合に適用し、チームスタッフ変更届は代表者会議開始までに提出すること。
- (2) 試合中、アリーナに入場できる者は、当日エントリーされた者のみとする。女子2日目（鈴鹿市立玉垣小学校）のフロアへの入場制限については、大会競技委員長または会場責任者の指示に従うこと。

4. 試合球について

男子の部、混合の部 モルテンボール（V4M5000-L）
女子の部 ミカサボール（V400W-L）

5. ベンチスタッフの服装について

- (1) ベンチスタッフはジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- (2) 監督がジャケットを着用し、その他のチームスタッフが統一された服装であれば許可される。
- (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) 試合中、左胸部に監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれつけなければならない。また、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
- (5) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。

6. 試合進行について

- (1) 第1試合の開始時刻のみ、開会式終了後準備ができ次第大会本部より案内する。第2試合以降は追い込みで行う。全試合、10分間の合同練習後、プロトコールに入る。
- (2) 試合が終了したチームは、速やかにベンチを空けること。また、キャプテンは記録用紙へのサインを済ませること。次の試合のチームは、競技委員の指示が出てからベンチに入ること。

7. 試合中について

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎むこと。
- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のように立ち上がったたり、数歩前に出たりする行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為及び、相手を威嚇する行為も認められない。

- (3) 床に落ちた汗は、選手のタオルで拭くため、複数の選手にタオルを携行させること。
- (4) うちわ等については、セット間及びタイムアウト中のクールダウンに使用する場合にのみベンチへの持ち込みを認める。
- (5) マスコットの的な物（ぬいぐるみ、千羽鶴等）やメガホンなど音響効果のための用具の持ち込みを禁止する。
- (6) 水分を補給する場合は、水筒等を小さいかごに入れて直接床に置かないこと。
- (7) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

8. 応援マナーについて

- (1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させること。相手への威嚇、審判団へのクレーム、あるいは類似した行為は慎み、積極的に感謝と称賛の意を表すように努めること。
- (2) 横断幕は、試合をしているチームのみ掲示を許可し、観覧者の視界を遮ることがないように手摺りの下部に紐等を使用して固定すること。
- (3) のぼりも横断幕に準じ、観覧席の最後部にマジックバンドや紐等を使用して立てること。
- (4) 施設及び付帯の設備等を叩きながらの応援は禁止する。
- (5) カメラなどのフラッシュ撮影は禁止する。

以上

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 競技規則等について

- (1) 大会競技委員長の「競技上の確認事項」に従い行う。
- (2) テクニカルタイムアウト（以下：TTO）について
 - ①TTOは、選手の健康観察と安全管理を目的とする。このため選手は、ベンチ横側のフリーゾーンに位置し、ベンチスタッフは、選手が給水や汗拭きができる環境を整えるとともに、選手に給水を促し、健康状態を観察すること。
 - ②チームスタッフが選手に話しかける場合には、選手の位置する場所で行うこと。選手をベンチ前に呼び寄せる行為は禁止する。
 - ③TTOの間、控え選手を含めた選手は、給水を優先することとし、モップ掛けやウォームアップは行わないこと。なお、モップをかける場合はチームのスタッフ（大人）であれば行うことができる。
 - ④第1、第2セットでは、リードしているチームが11点に達した時、第3セットは、リードしているチームが8点に達した時、チェンジコート後に適用する。デュースが続く場合、第1セットと第2セットは、両チームが31点に達したときに適用し、その後は両チームが10点ずつ積み重ねた段階で適用する。また、第3セット目は、両チームが21点に達した時に適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- (3) 靴紐を結ぶ場合は、試合進行の妨げとならないよう、ボールデット間に速やかに結ぶこと。なお、レフェリーに靴紐を結ぶことを申し出る行為は、ルール上の遅延行為にあたるため行わないこと。

2. コートワイピングについて

- (1) チームは、コートに入る複数の選手にワイピング用のタオル等を携行させ、床が汗等で濡れた場合は、先ずコート内の選手が拭くように指導しておくこと。
- (2) 試合中床がひどく濡れた場合であっても、ラリー間でのモップの使用は、レフェリーの指示がある時のみとする。

3. スコアラー及びコートオフィシャル（ラインジャッジ・点示員）について

- (1) ファーストレフェリーには公認審判員が行う。セカンドレフェリーとスコアラーは、該当チームから出すこと。ラインジャッジと点示員は、該当チームから各4名を出すこと。該当するチームが2チームで行う時は、ラインジャッジと点示員が両チームから各2名ずつ割り振られるように配慮すること。
- (2) スコアラーは、担当チームの責任においてスコアラーの経験があるなど、確実に任務を果たすことができる人員を選出すること（選手・大人は問わない）。
- (3) スコアラーは青色ボールペン（フリクションインク不可）と短い定規を用意し、使用すること。

- (4) コートオフィシャルは、担当チームの責任において登録選手のうち任務を果たすことができる人員を選出すること。なお、登録選手が少なく、点示員が低学年などの事情がある場合に限り、その補助として構成メンバーとして有効に登録されたチームスタッフがフロアに入ることを認める。それもできない場合には、保護者が入ることを認める。
- (5) スコアラーの処理に間違いが起らないよう、補助員としてスコアラーの隣にチーム関係者1名が座ることを認める。その際、ボール拭きなどセカンドレフェリーからの依頼にも協力すること。
- (6) コートオフィシャル含め審判団のマスク着用は、任意とする。
- (7) チームは、コートオフィシャルに給水ボトルを持たせるなど、健康と安全管理を徹底すること。TTOにはすすんで給水するよう指導しておくこと。

4. レフェリーミーティングについて

各コートの試合開始前に記録席において、ファーストレフェリー、セカンドレフェリー、スコアラー、ラインジャッジ及び点示員によるミーティングを行う。その際、必ず全員がスコアラーズテーブル前に集合すること。

5. その他

(1) 中断の要求について

- ①タイムアウトの要求は、レフェリーに対しハンドシグナルを明確に示すこと。
- ②選手交代は、選手交代ゾーン内に確実に入るよう選手に指導すること。
- ③複数の選手交代を要求する際は、同時に（間を空けず連なって）選手交代ゾーンへ入るよう、選手に指導すること。

(2) 暴力・暴言などの行為について

ベンチスタッフ及び選手によるコート内外における暴力、暴言等については厳に慎むこと。
万一、当該行為があった場合にはルールに則り制裁する。

(3) 感染症対策に関する取扱い

- ①スコアシートへのサインに用いる監督・チームキャプテンのボールペンは、スコアラーのものを使用しても、チームで準備したものを使用しても良いこととする（フリクションインク不可）。
- ②ラインジャッジフラッグは連盟で用意するが、担当チームのものを使用しても良いこととする。

以上

大会運営上の確認事項

大会総務委員長

1. 地震等の非常時に備え、各自、各チームは非常口や避難経路を事前に確認しておくこと。
2. 当該施設は大会関係者以外の方も利用している複合施設であるため、施設の利用ルールを厳守するとともに、他の利用者に迷惑がかからないよう行動すること。
※トイレ用スリッパは必ず元の位置に戻すこと。
3. 開場を待つ間は入口付近での滞留を避け、他の利用者の通行を妨げないよう配慮すること。
4. 女子の部 1 日目の四日市市総合体育館は午前 7 時 30 分開場、16 時 00 分撤収と、例年より早い時間帯になるため、余裕をもって行動し大会運営に協力すること。
※競技及び審判が終了したチームは順次解散すること。
5. 開場したら、チーム関係者は大会本部からの案内に従い順次入館を開始し、観客席の指定された区域に移動すること。チームの担当者は大会本部が指定する受付窓口にて手続を行うこと。使用する観客席の座席は、**大会本部が指定する区域を応援スペースとして空けること。**
※女子の部 2 日目の鈴鹿市立玉垣小学校については、大会競技委員長または会場責任者の指示に従うこと。
6. アリーナに入場する際は必ず屋内用シューズに履き替えること。外履きは各チームでまとめて管理することとし、下駄箱は使用しないこと。
7. 代表者連絡会議は大会本部が指定する場所で行う。
※女子の部 2 日目は代表者連絡会議にて簡易的な開始式を行う。
8. 男子の部、混合の部の開会式と表彰式及び閉会式はメインアリーナで行う。
※女子の部 1 日目は開会式のみをメインアリーナにて行う。
※女子の部 2 日目の表彰式及び閉会式はその場で行う。
9. エントランスや共用部、会場周辺での場所取りやミーティング、練習等を行わないこと。
ボールかご等試合に使う用具やまとめた外履きを共用部に置かないこと。
10. ゴミは各自、各チームで持ち帰ること。帰る際には座席周辺のゴミや飲料水等による汚れがないかを確認をすること。館内のごみ箱は使用しないこと。

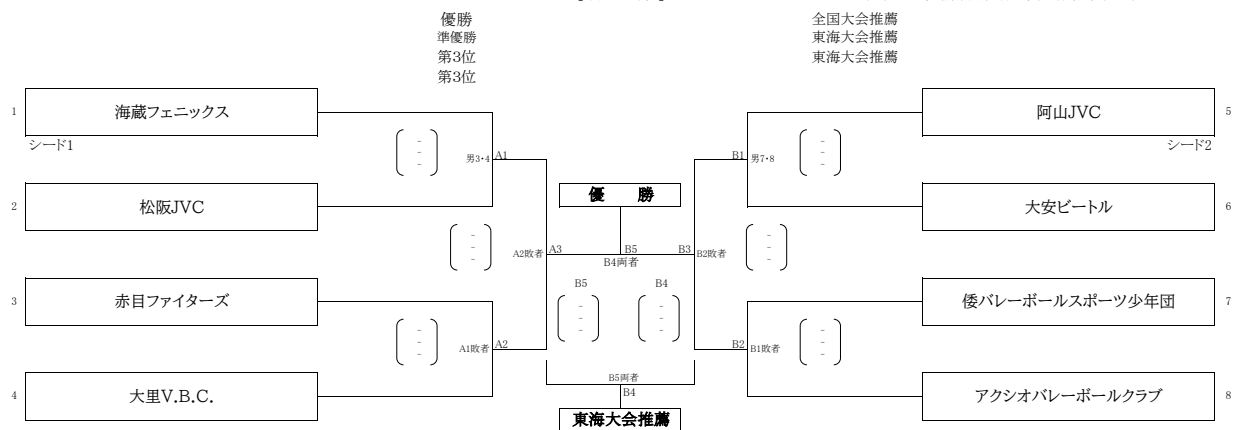
競技中はもちろん、それ以外の大会中の行動についてもグリーンカードの進呈対象とする。

以上

スミセイVitalityカップ JVA第45回全日本バレーボール小学生大会 三重県大会

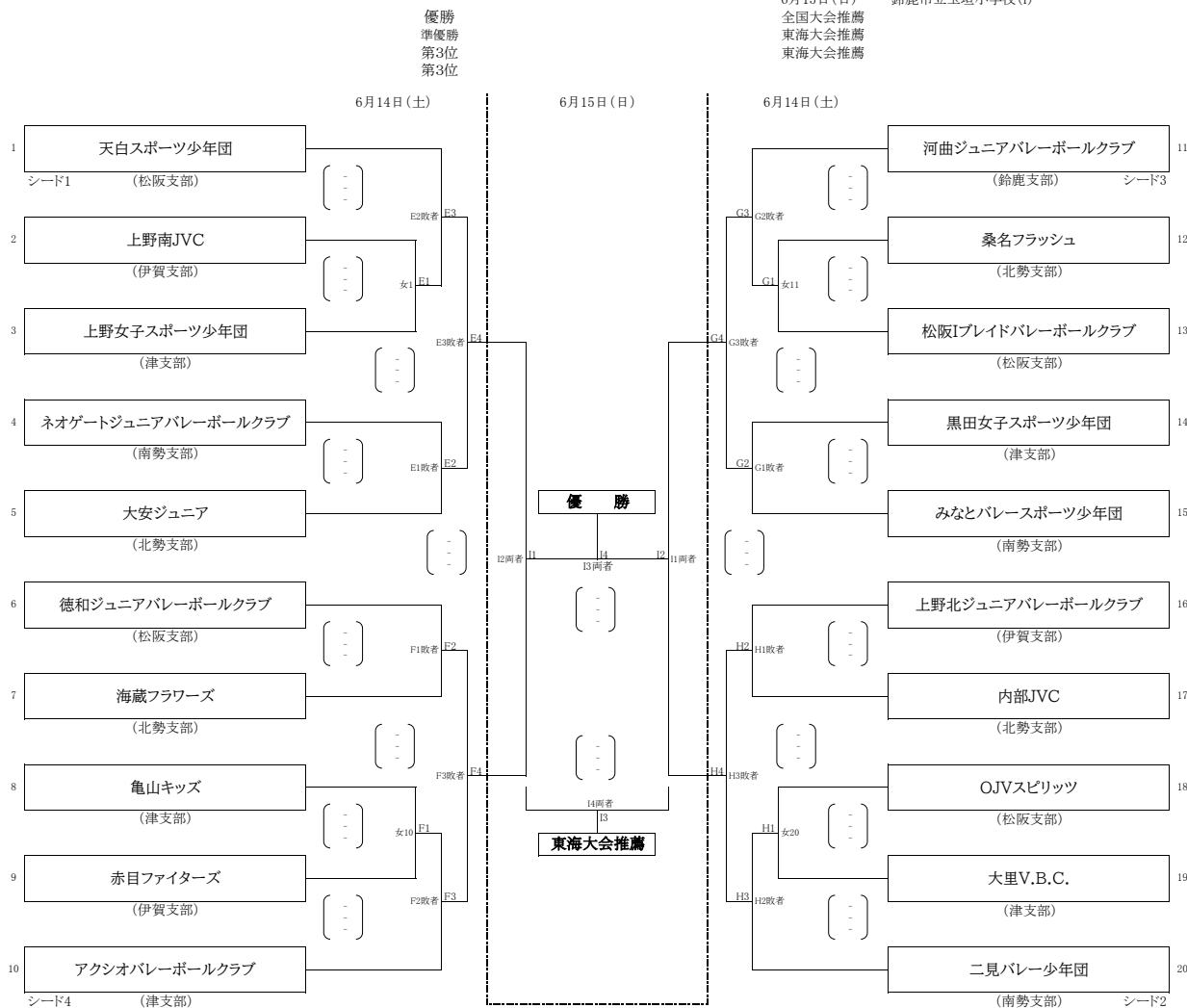
【男子の部】

6月14日(土) 安濃中央総合公園内体育館(A・B)
 全国大会推薦
 東海大会推薦
 東海大会推薦



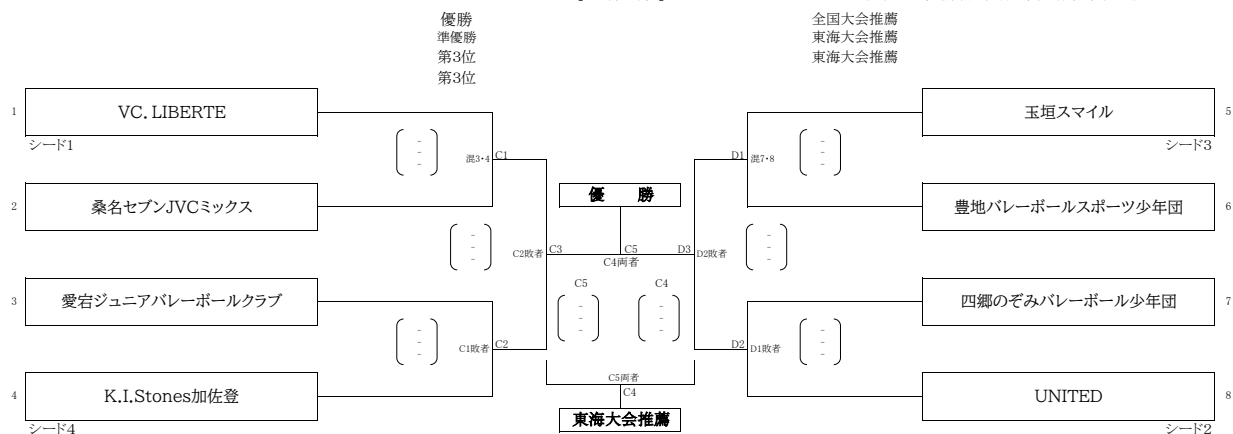
【女子の部】

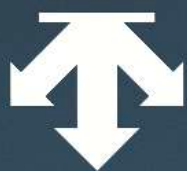
6月14日(土) 四日市市総合体育館(E・F・G・H)
 6月15日(日) 鈴鹿市立玉垣小学校(I)
 全国大会推薦
 東海大会推薦
 東海大会推薦



【混合の部】

6月14日(土) 安濃中央総合公園内体育館(C・D)
 全国大会推薦
 東海大会推薦
 東海大会推薦





動くほどに、空気が巡る

AERO STREAM D-TECH

YUKI ISHIKAWA

日本小学生バレーボール連盟の ど真ん中にいるのは 8万人の子どもたちです。

この子どもたちにバレーボールを通して
人間力を育むのが私たちのミッションです。

この大会も 自分で生きる力(自立) みんなで生きる力を(共生)
育む一つ場です。



赤は元気・健康、青はスポーツマンシップ、緑は努力

ルールを守り

フェアプレイの心を忘れず競い合う相手をリスペクトし
みんなで 素晴らしい 大会を創りましょう!!